

令和7年度 带状疱疹定期予防接種説明書

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水泡が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。带状疱疹は70歳代で発症する方が最も多くなっています。

なお、法律上の義務はありませんので、この説明書を読んで理解した後、自らの意思と責任で接種を希望する場合のみ指定医療機関に直接お申し込みください。

【対象となる方】

- ① 令和7年度内に、65・70・75・80・85・90・95・100歳となる方
- ② 100歳以上の方（令和7年度限り）
- ③ 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

【実施期間及び接種回数】

- 実施期間：令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火）の間で
生ワクチンは1回接種 組換えワクチンは2回接種。

※過去に接種された方は対象外となります。必要な方は主治医にご相談ください。

任意接種での接種歴なし		○（定期接種の対象）
任意接種で1回接種した人	生ワクチンの場合	 ×（定期接種の対象外）
	組換えワクチンの場合	 ○（残りの1回のみ定期接種の対象）
任意接種で組換えワクチン2回接種した人		×（定期接種の対象外）

【費用・自己負担額について】

	自己負担額
生ワクチン（阪大微研）	4,500円
組換えワクチン（GSK社）	11,000円（2回接種で、計22,000円）

※自己負担金減免制度について

- 生活保護受給者…生活保護受給者証明書原本を接種の際に指定医療機関にご提示ください。
- 「岬町高齢者予防接種一部自己負担金徴収免除証明書」住民税非課税世帯が対象。必ず接種前に、本人確認書類（健康保険証・マイナ保険証・運転免許証など）持参のうえ岬町立保健センターにお越しください。

【持ち物】健康保険証・マイナ保険証、接種費用、お持ちの方は健康手帳

【带状疱疹ワクチンとは】

带状疱疹ワクチンは生ワクチン（阪大微研；乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビゲン」）、組換えワクチン（GSK社：シングリックス）の2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
接種回数（接種方法）	1回（皮下に接種）	2回（筋肉内に接種）
用法及び用量	0.5ml	0.5mlを2回
接種スケジュール	—	通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種出来ません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

その他に、接種前に発熱を呈している方、重篤な急性疾患に罹っている方、それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方等はいずれのワクチンも接種出来ません。

また、心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方、けいれんを起こしたことがある方、免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方、带状疱疹ワクチン（生ワクチン、組換えワクチン）の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方等はいずれのワクチンについても接種に注意が必要です。

【带状疱疹ワクチンの効果】

		生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
带状疱疹に対する ワクチンの効果 （報告）	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

【带状疱疹ワクチンの安全性】

ワクチン接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
70%以上	—	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤* 筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感* 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛*、腫脹* 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、その他の疼痛

*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成されたもの抜粋

【他のワクチンとの同時接種・接種間隔】

いずれの带状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、生ワクチン（阪大微研）については、他の生ワクチン（注射）と27日間以上の間隔を置いて接種してください。

【接種を受けた後の注意点】

ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。当日の激しい運動は控えるようにしてください。

【予防接種健康被害救済制度について】

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けた時に住民票を登録していた市町にご相談ください。

【予防接種ができなかった場合の注意点】

医師の説明を十分聞いた上で、ご本人が接種を希望しない場合、家族やかかりつけ医の協力を得てもご本人の意思の確認ができなかったため接種をしなかった場合、当日の身体状況等により接種をしなかった場合などにおいては、その後带状疱疹に罹患した事による重症化、死亡が発生しても、市町及び担当した医師にその責任を求めることはできません。

問い合わせ先 岬町立保健センター TEL072-492-2424

※この説明書は、厚生労働省「感染症対策部予防課発出の資料を参考に作成しています。
令和7年4月岬町立保健センター作成